

## 戦後生まれが考えた戦争のこと

82期・島本慈子（ノンフィクションライター）

### ① 「労働の取材」が「戦争の取材」へ発展した理由

■労働の規制緩和について。

1985年6月 労働者派遣法が成立

法施行の時点では、派遣対象を「専門的な13業務」に限定。しかしすぐに3業務が追加され、以後は拡大の一途をたどる。

1995年5月 日経連「新時代の『日本的経営』」を発表

ここで、会社の従業員を三つに分けるという考えが打ち出される。

①長期蓄積能力活用型 ②高度専門能力活用型 ③雇用柔軟型

1998年9月 労働基準法改定（有期雇用の拡大など）

1999年2月 経済戦略会議 答申で「雇用の流動化」を提言

1999年6月 労働者派遣法改定（派遣労働の対象を原則自由化）

2003年6月 労働者派遣法改定（製造現場への派遣を解禁など）

労働基準法改定（解雇ルール新設、有期雇用・裁量労働の拡大）

■労働の規制緩和がはらむリスク（安全を損なう、抑圧的な社会をつくる）。

■雇用破壊の社会は戦争を止める力を失い、戦争状態への依存を始める??

### ② 『戦争で死ぬ、ということ』で考えたこと

戦争の“エキス”とは何か？ 戦争の普遍性はどこにあるのか？

### ③ 『ルポ 労働と戦争—この国のいまと未来』

（岩波新書、2008年11月刊行予定）

「在日米軍基地という職場」「『軍』と『民』のバリアフリー」「ものづくり立国の戦争」「Switch=九条が消える日」「明日へのジグソーパズル」

### ④ 日本という国の「個性」について思うこと

原子爆弾の威力を賞賛していた「1945年8月5日以前」の日本について。

2007年6月、テニアン島の“原爆搭載地”に立って考えたこと。

拙著『戦争で死ぬ、ということ』『ルポ解雇』（以上、岩波新書）、『倒壊—大震災で住宅ローンはどうなったか』（ちくま文庫）、『子会社は叫ぶ』（筑摩書房）、『住宅喪失』（ちくま新書）、『砂時計のなかで一薬害エイズHIV訴訟の全記録』（河出書房新社）など。

# 著者に会いたい

『ルポ 解雇』 島本 慈子<sup>やす</sup>さん(52)



文・村山正司  
写真・高橋一徳

不条理なクビは実在する。いまだに、なのか、今だから、なのかはともかく。

不当解雇の実例を丁寧な筆で追った。クビと言われて会社に理由を尋ねたら、身覚えのない犯歴が出てきた男性。興信所のずさんな調査を会社がうのみにしていた。

「マンガのよう? でも本当に切つてんだもん。会社が脅せば従業員は引込むという前提があつて、たいていは泣き寝入りになる。それを許せない人だけが、裁判を起こしているんです。だから、裁判の

百倍、千倍も、不当解雇はあるはず」

あらゆる解雇裁判は「名誉のための闘争」だ、と書く。「損得を考えれば、勝つても得はしないかもしれません。だけど、実際に勝って名誉を回復するケースが存在するのは、知ってもらったほうがいい」

不当解雇と並行する主題が、労働基準法の改正だ。「解雇ルール」の策定である。

「使用者は……労働者を解雇することができる」という政府原案は、国会で「解雇は

……無効とする」と表現が変わった。法律

や制度のややこしい話を、欧米とも比較しながら説明している。「働く人に理解してもらおうと、読みやすさに気を配りました。みんな日本の働く環境が当たり前と思っているけど、欧州連合(EU)に比べたら個人の尊厳は軽んじられている」

関西の雑誌記者を経て、フリーに。取材の面白さは熟知していたが、不当解雇され

## 苦しさを取材で追体験

た人々の話を聞くのはつらかった。「どれほど苦しんでおられたか。私も追体験で眠れなくなりました。それに、裁判に出てくる会社側の書面を大量に読んだら気持ちが悪くなった。みんな似ているねん。組織が個人を陥れる時のいやしさがそっくり」

次回作では、人間が戦争で死ぬことの意味を考える予定だ。「この時代には軽々しいことは書けないし、自分も楽しめないですから」

(岩波新書・700円)



# 島本慈子 戦争で死ぬ、という人（五）

## 第五章 殺人テクノロジーにより。

### 軍艦も一キロ上空へ

#### マンチーアの空襲で吹飛ばす

マンチーアの空襲で吹飛ばす

マンチーアの空襲で吹飛ばす

### 獨「原子爆弾？」を使用

#### 廣地域、一切の動植物死滅

【ロンドン二十一日路透電】ロンドン二十一日路透電、一政府は、中七

【ロンドン二十一日路透電】ロンドン二十一日路透電、一政府は、中七

### 原子爆弾使用

【ロンドン二十一日路透電】ロンドン二十一日路透電、一政府は、中七

朝日新聞

毎日新聞

読売報知



# 十一隻を撃沈

## 敵飛行場火の海に化す

**荒鷲の協力**  
（空に沖に）

敵飛行場は十一月二十四日、我々の攻撃を受け、火の海に化す。十一隻の敵機が撃沈された。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵飛行場は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵飛行場は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 再びサイパン攻撃

## 敵飛行場八ヶ所爆撃

大日本帝國海軍は、十二月二十六日、サイパン島の敵飛行場八ヶ所を爆撃した。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵飛行場は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵飛行場は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵飛行場の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 神経戦を克服せよ

## 敵基地を断乎粉砕せよ

敵基地を断乎粉砕せよ。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 大戦車戦を展開

## メキシー部隊の活躍

メキシー部隊の活躍。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 米軍危機に類す

## 十七機撃沈

米軍危機に類す。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 木葉微塵

## 原子爆弾使用

木葉微塵。原子爆弾使用。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。敵基地は、火の海に化し、敵機は撃沈された。我々の攻撃隊は、敵基地の周囲を飛行し、敵機を撃つ。

# 木葉微塵 獨 原子爆弾使用

【リスボン】  
廿七日、ロンドン、東京によれば、ドイツは二十七日、ルントシュエ

ドイツ元帥部下のドイツ軍が、下原子爆弾を使用してゐる。放逐した開放地によれば、原子爆弾が投下された地域では、一切の動植物が生存を停止し、森林は焼き盡され、廣大な地域が焦土と化し、大爆撃に陥つたものは、誰れも微塵になつてしまふといはれる。